

2025（令和7）年度一般選抜1期 「英語」 入試問題 「出題の意図」

問題1	<p>（発音・アクセント・音声に関する基礎的理解）</p> <p>英語を音声言語として正確に理解し、運用するための基礎的な発音・アクセントに関する知識と判断力を測ることを目的としている。具体的には、文中で意味の焦点となる語の強勢の置かれ方や、単語の発音の違いを適切に聞き分け、認識できているかを問うている。</p> <p>会話文という実際の使用場面を通して、英語を単なる文字情報としてではなく、文脈において意味と音が結びついて理解しているかを評価する。</p>
問題2	<p>（語彙・文法・語法の基礎的運用力）</p> <p>英語の文法・語法・語彙についての基礎的な知識を、文脈の中で適切に運用する力を測ることを目的としている。</p> <p>空所補充や語句選択の設問を通して、時制、態、品詞、前置詞、慣用表現などが、具体的な文脈の中でどのように用いられるかを正しく理解しているかを問うている。</p> <p>また、単なる暗記にとどまらず、意味の通る英文を構成する観点から最適な選択ができるかを評価する。</p>
問題3	<p>（語順・構文理解と英文構成力）</p> <p>英語の基本的な語順や構文を理解し、それに基づいて意味の通る英文を構成する力を測ることを目的としている。</p> <p>語句整序の形式を通じて、文の主語と述語の関係、修飾語句の位置、慣用的な構文などを正しく把握できているかを問うている。</p> <p>英語に特有の論理的な語順を意識しながら、全体として自然で一貫した文を組み立てる能力が身についているかを評価する。</p>
問題4	<p>（実用的表現・会話理解）</p> <p>日常的な場面における英語表現を理解し、状況に応じて適切な応答を選択する力を測ることを目的としている。会話の流れや話し手の意図、場面にふさわしい慣用表現を踏まえて、意味的・語用論的に最も適切な表現を判断できるかを問うている。</p> <p>単語や文法の正確さだけでなく、実際のコミュニケーションにおける自然さや適切さを考慮できるかを評価する。</p>
問題5	<p>（対話文の論理的つながりの理解）</p> <p>複数の発話からなる対話文において、話の流れや発話間の論理的・意味的なつながりを把握する力を測ることを目的としている。</p> <p>前後の発言内容、話し手の感情や立場、会話の目的を踏まえ、最も自然に会話が成立する発話を選択できるかを問うている。</p> <p>これにより、英文を個々に理解するだけでなく、談話全体として理解する力が備わっているかを評価する。</p>
問題6	<p>（長文読解と論理的内容把握）</p> <p>比較的長い英文を読み、文章全体の主題や論理構成を把握するとともに、細部の情報を正確に読み取る総合的な読解力を測ることを目的としている。</p> <p>具体的には、語句や指示語の理解、文構造の把握、内容の要点理解、情報の正誤判断などを通して、書き手の主張や文章の展開を的確に理解できているかを問うている。</p> <p>現代的な話題に関する英文を素材とすることで、大学での学修に必要となる情報読解力と批判的理解の基礎を評価する。</p>